

春日山城入門ワンポイントアドバイス 〈春日山城のエキスパートになれる案内板が各所にあります〉

本丸・天守台跡
日本海と頸城平野の眺望がみごと。



毘沙門堂
謙信公が出陣前に戦勝を祈願した所。



景勝屋敷
謙信公の跡を相続した上杉景勝の屋敷跡。



大井戸
どんな渇水でも涸れることなく今も満々と水をたたえる大井戸。



直江屋敷
上杉家の重臣で大河ドラマ「天地人」の主人公、直江兼統の屋敷跡。



千貫門
どの絵図にも描かれている門跡。



三の丸
米蔵、三郎景虎屋敷跡や土塁

がある。三郎景虎は「御館の乱」で悲運の死を遂げた武将。



春日山神社
謙信公を祭神とし、旧高田藩士小川澄晴が浄財を募り、祭主となって創建したもの。日本近代童話の父と呼ばれる小川未明は澄晴の長男。



春日山城史跡広場
春日山城跡ものがたり館

春日山城の持つ大きな特徴の一つが延長約1.2kmの監物堀。中世の山城から近世の城への展開を示す貴重な遺構。東城砦には番小屋

が復元され、逆三角形の薬研堀も見ることができる。「ものがたり館」は映像で謙信公の生涯と春日山城のなりたちについて学ぶことができ、展望室からは春日山城の大きさを体感できる。



〈問い合わせ〉TEL.025-544-3728

※日本百名城スタンプラリースタンプ設置所
(休館日は埋蔵文化財センターに設置)

春日神社
越後守護上杉氏の氏神。春日山城築城のとき鬼門神として山頂から遷座したと伝えられ、春日山城の名前の由来となった。



謙信公が深く信仰した毘沙門天



しました。
にして、突然、49歳の生涯を閉じた。
天正6年(1578)、関東出兵を前に入りました。
かつたといわれるほど「義」に篤
野心得戦をしたことは一度も無
援の塩を送ったり、また領土的
ていながら、かえって信玄に救
武田信玄と5度も川中島で戦っ
信頼されました。
し、天皇や将軍に拝謁して、深く
(1559)の2度にわたって上洛
天文22年(1553)と永禄2年
乗ることになります。

藩宮で上杉姓と関東管領職を上杉憲政から譲られ、上杉氏を名
陸への出兵が生涯続きます。永禄4年(1561)に鎌倉の鶴岡八
越後守護代になりました。以後、越後統一、信濃・関東・北
14歳で元服して長尾景虎と名乗り、19歳で兄・晴景に代わっ
武の道を習っています。

謙信公は享禄3年(1530)、越後守護代長尾為景の末子として
生まれ、7歳のとき林泉寺に入り、名僧・天室光圀から厳しく文

戦国の名将

春日山城跡は、城としての歴史だけでなく、自然の宝庫として、
四季折々の豊かな表情を訪れる人々に見せてくれます。

林泉寺

謙信公の祖父・長尾能景が父の菩提を弔うために創建した長尾氏の菩提寺。謙信公は7歳から14歳まで、名僧・天室光圀のもと文武の修行を積みました。戦国の武将としては教養が高く信仰心が深いのはこの時代に培われたものです。惣門は春日山城から移築したといわれ、山門は鎌倉時代の様式を取り入れた大正14年(1925)建立の名作。墓地には謙信公や堀家三代の墓、川中島合戦の死者の供養塔があります。境内は400年を経た今も少年謙信の息づかいが聞こえるようです。

宝物館には謙信公の書簡などゆかりの品が展示されています。



林泉寺山門

御館跡 (御館の乱の舞台)

天正6年(1578)に謙信公が亡くなると、養子である上杉景勝と三郎景虎が跡目を争ったのが御館の乱。三郎景虎のたてこもる御館(前関東管領上杉憲政の館)を

景勝軍が総攻撃し落城。この乱で、安国寺・至徳寺などの名利や府中の町6000軒が焼けたと伝えられています。三郎景虎は北条氏康の七男で、越相同盟の人質だったものを謙信公が養子とした人で、美男であったといわれています。

越後上越 謙信公と春日山城展

会場:上越市埋蔵文化財センター
謙信公やその居城・春日山城を中心に、戦国時代の歴史を紹介する企画展です。春日山城の全容が分かるジオラマの展示をはじめ、謙信公が見ていた当時の頸城平野の風景を再現するほか、謙信公の生涯をタッチパネ

一方の景勝は謙信公の姉の子で、御館の乱に勝利し、上杉家の家督を相続しました。景勝の家臣として活躍したのが直江兼統です。その後、景勝と兼統は上杉家繁栄に大きな功績を残しました。



ル等で詳しく紹介しています。
※現在、親子で着用できる甲冑体験を実施中です。
(1回30分まで、無料)

謙信公の遺徳を偲ぶ 謙信公祭 (毎年8月下旬開催)

鎧兜に身を固めた武者たちが練り歩く出陣行列や、出陣の儀式である武禱式が行

われます。夕闇せまるころ篝火のなかで行われる川中島合戦の再現は戦国絵巻そのもの。そのほか献納米合戦や大民踊流しなど、2日間にわたって春日山城下で行われます。



出陣行列



川中島合戦の再現

春日山城跡へのアクセス!



次はどこ行く?
上越市公式観光情報サイト
上越 Navi
Joetsu Information Web Site

— 謙信公銅像前まで —
 ・えちごトキめき鉄道「春日山駅」より 徒歩40分
 ・JR「上越妙高駅」より 車で25分
 ・北陸自動車道上越ICより5km 車で15分
 ・上越自動車道上越高田ICより8km 車で20分

観光の問い合わせ
 上越市観光振興課 TEL025(526)5111
 (公社)上越観光コンベンション協会 TEL025(543)2777
 上越妙高駅観光案内所 TEL025(512)6016
 直江津駅前観光案内所 TEL025(539)6515

日本百名城 上杉謙信公のふるさと新潟県 上越市

国指定史跡
春日山城跡めぐり

歴史浪漫、戦国の名将、上杉謙信公の居城を訪ねる。

KASUGAYAMA



戦国の名将・上杉謙信公の城として今も天下にその名を轟かしている春日山城は、越後守護上杉氏が戦時のために築いた城で、今の県庁に当たる守護所(直江津駅南)から約4kmの位置にあり、関東・信濃・北陸への往来が一目で監視でき、守護代長尾氏家が守護所と連繫して守っていました。
春日山城は、石垣の代わりに、自然の起伏を活かした空堀・土塁などによって多くの郭を守っていました。また天守閣を持たず、周囲の山々に砦を築いて、より大きな城としての機能をもたせていました。こうした城の造りは、戦国時代の山城としての特徴をよく表しています。
天正7年(1579)に養子の長尾景勝に、慶長3年(1598)には堀秀治に引継がれました。しかし、堀氏が慶長12年(1607)直江津港近くに福島城を新築して移ると、城としての運命を終えました。

春日山城と上杉謙信公ニカイト